

2024 年 8 月 21 日

スマイルぷらす松戸・放課後等デイサービスひろば

松戸市重症児通所支援連絡会アンケートより

● 会員内利用状況(回答:7 事業所/10 事業所)

事業別の 利用状況	児童発達 支援	重心児	医療的 ケア児	放課後等デ イサービス	重心児	医療的 ケア児	生活介護	重心者	医療的 ケア者
延べ人数	28	25	27	66	59	39	26	18	13

医療的ケア児者の利用は延べ 79 名

● 医療的ケア児者支援において課題に感じていること

- ① 移動(屋外・室内)に関すること
移動中でのケアの実施には危険を伴う。長時間乗車、複数名同乗の送迎対応にリスクを感じている。また人員確保や車両確保、車両内スペース確保(持ち物、車椅子が大きい)も運営する中で考えなければならない。移動支援事業所が少ない。マンパワーが必要だがリフトなどの器機類コストが高く導入が難しい。
- ② 実際の支援場面に関すること
医ケア児者が増えている状況の中で、看護師だけでは対応しきれなくなってきた。喀痰吸引等研修修了者の不足を感じている。担当国会議含め、主治医・医療機関との連携機会がよりスムーズになると良い。

● 医療的ケア児者支援において期待したいこと

- ① 移動に関すること
保護者が送迎できないことを理由に、療育や教育を受ける機会を損なうことのないよう、市としても必要な支援を検討いただきたい。グリーンスローモビリティが高齢者支援分野で試行されているとのことですので、医療的ケア児にも対象拡大期待したい。福祉有償運送事業、移動支援事業に参画しやすい取組みを期待したい。
- ② 社会参加への情報共有
障害児や医ケア児でも参加できる催しの情報提供をお願いしたい。
保育交流機会のさらなる活性化を期待したい。
- ③ 事業所体制へのバックアップ
連絡会への研修助成を検討いただきたい。
緊急時の医療機器電源(バッテリーなど)の助成を事業所向けにも検討いただきたい。
喀痰吸引等研修補助金について 3 号研修までの補助拡大を評価したい。加えて、研修修了後～運用までのタイムラグ短縮をお願いしたい。

2024.7.25 香取市・神崎町・東庄町医療的ケア児支援の取り組み 避難シミュレーション (香取市複数避難訓練) 報告

2024.8.6
香取市・神崎町・東庄町医療的ケア児等支援協議の場（中会議）
栗源市民センター2階 研修室
香取広域運営会議

香取市・神崎町・東庄町医療的ケア児支援の取り組み避難 シミュレーション(香取市複数避難訓練)

災害想定

- ☐地震 マグニチュード7・0 全域停電発生。
- ☐水道が停止。回復の見込みない状態。
- ☐自宅周辺道路の確認が必要
- ☐本人と母のみ自宅にいる状態。
- ☐地震発生後、12時間内を想定する。
- ☐自宅避難を試みる。
- ☐病院への避難相談を行う。
- ☐その後、停電の長期化から避難所に移動をすることとなる。
- ☐ダイレクト避難をする。

香取市・神崎町・東庄町医療的ケア児支援の取り組み避難 シミュレーション(香取市複数避難訓練)

- ①在宅生活の4名の当事者・家族の避難訓練。
- ②電源確保の実証実験。
(香取市 電動者(EV車)からの蓄電池への充電実験)
- ③災害時の地域被害状況・安全確認等のドローン活用実証訓練。

当事者・家族の香取広域避難ぷらん作成開始 令和6年4月～6月の動き。

※紹介は後ほど

- ・Iさん(香取市)
- ・Oさん(香取市)

1. 避難ぷらん作成までの流れ

- ★香取市・神崎町・東庄町から各1名。
- ★作成期間 令和3年10～12月
- ★1ぷらん作成までの動き
 - ・本人・ご家族様と面談
 - ・担当職員訪問
 - ・防災担当訪問
 - ・福祉担当訪問
 - ・本人・家族を含めた担当者会議
 - ・その他、連絡調整(家族・病院・千葉リハ、呼吸器科等、各支援関係者等)
- ★避難シミュレーション(東庄町)
東香取市(R4.8.3)・神崎町(R4.9.28)実施。



避難ぷらんを立てた後、実際にそのぷらんが良いかどうか、避難訓練をやってみる事。
⇒ここは香取・神崎・東庄で大事にしている基本の部分です。

避難ぷらんの作成と避難シミュレーションに向けて

令和6年度はぷらん更新。自宅や香取特別支援学校にて、母と相談。避難訓練に向けて計画を立てる。家族より避難候補先は、通学している香取特別支援学校を希望する。

〇さん

避難ぷらんは、昨年度から作成してきた。体調や入院先等があり、正式には令和6年度完成。自宅から近い場所。電源確保の場所を検討し、香取特別支援学校を希望。5月1日に香取特別支援学校、村山校長先生に相談。快諾いただき具体的な避難プランを作成。6月11日(火)に自宅にて本人、家族、支援機関等10名程が参加し避難ぷらん共有。避難訓練に向けて進める。6月17日(月)に母と香取特別支援学校へ見学、事前打合せに訪問。

避難プランなど作成は、本人、ご家族様等と関係がある方々が携わる事が大事。医療的な支援、関係機関等も多くかわる方も多いため、香取広域では、医療的ケア児等コーディネーターや基幹相談支援センターが寄り添いプラン作成に当たっております。相談支援線も人等がついている方は、情報を共有し本人が安心して相談できる方にも同席をしてもらいます。

本人・家族の意向は、自宅避難が可能であればそれを望む。しかし、もし自宅以外に避難をしなくてはならない場合は、ダイレクトに身近な自宅近くで、電源と場所を確保したい。

この相談経過の時間も大事で、本人・ご家族様は、災害時や避難をイメージしながら、どうするか、何かあったらよいか等を考えていく時間になります。

令和6年度香取市・神崎町・東庄町医療的ケア児等支援の取り組み 香取市複数避難シミュレーション 「災害時に避難を諦めない地域に」

日時：令和6年7月25日(木)
9:30~11:50
集合場所：香取特別支援学校

参加者 82名+学校の先生15名程
参加者 97名

【スケジュール予定】

- 9:20 受付
- 9:30 開会挨拶 香取市福祉健康部長(食堂)
- 9:35 全体説明(食堂)
- 9:40 香取市EV車両充電説明等(食堂側駐車場)
- 香取市福祉避難所説明(食堂)
- ドローン協会説明(食堂)
- 10:30 当事者・家族等 香取特別支援学校到着
避難対応→電源確保等対応(各教室等)
- 10:50 香取市EV車両充電説明等(食堂側駐車場)
- ドローン協会説明・医療的ケア等(食堂)
- 11:20 全体振り返り・意見交換(食堂)
- 11:50 全体挨拶 香取市長(食堂)
閉会

香取市複数避難受入れ先：香取特別支援学校 当事者・保護者×教育×福祉×ドローン×行政×α始動



I君と家族皆様



“災害の際 スムーズに避難を” 医療的ケア児の避難訓練 千葉 | NHK | 千葉県 20240725



“災害の際 スムーズに避難を” 医療的ケア児の避難訓練 千葉



“災害の際 スムーズに避難を” 医療的ケア児の避難訓練 千葉

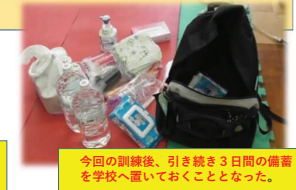
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240725/k10014523551000.html>

Kさんと家族皆様



Kさん（26歳）香取市
診断名：筋ジストロフィー
医療的ケア：人工呼吸器・気管切開・気管内吸引・経管栄養

（Kさんの事を知ってほしい！）
左手でコミュニケーションをする。パソコンを通じて本人意思を伝える。話している内容は聞き取り、理解をしている。ゲームやアニメ好き、動画を見ている。寒い場所、冬場が苦手。エアコン、扇風機の風が直接当たるのは苦手。



Rさん・Oさんと家族皆様

Rちゃん（香取市）・Oさん（成田市）



当事者・保護者×教育×福祉×ドローン×行政×α
協力機関：国際ドローン協会代表榎本幸太郎さんとドローン協会の皆様

令和2年の香取広域の避難訓練から出た課題
 ★当事者・ご家族からのリアル声：自宅一医療機関が遠いため。道路状況が分からない限り、怖くて自宅から別の場所になって避難できない。
 ⇒東庄町から紹介。ドローン協会 榎本さんに相談！ドローンを使えば、災害対策・物資運搬等、可能な事がたくさんある事を知る。

是非災害時に取り入れ活かしてほしい。人だけでは把握できない情報を、いち早く・正確に情報を確認⇒防災無線やメール等を通じ住民へ伝える事で、更に避難を諦めない地域に。自助力が高まる。

電源・バッテリー登載
 D-m a p協力するよ！とありました。

上空120mに、数秒で。

今回訓練 9:50 大地震発災後
 ドローン2機出発→30秒程度で道路状況が確認できた→安心して避難

当事者・保護者×教育×福祉×ドローン×行政×α
香取特別支援学校

学校の発電機から蓄電池への充電もやってみよう！
 ファミリーテント、ダンボールベッドの設置も！
 香取市との福祉避難所協定の可能性も！
 会場設営、駐車場配置、避難ルート学校配置図作成等運営側の協力！

学校スペースに、ファミリーテントとダンボールベッドを設置。

暑い中、駐車場の案内、そして会場設営迄、先生たちの協力あつての訓練でした！

発電機⇒蓄電池への接続確認。自宅から持参した蓄電池でも試してみました！

ダンボールベッド実際体験をしてみて、硬さ・大きさ、居心地を確かめる。一時的に利用は良いが、長期化は厳しいかな・体験。

当事者・保護者×教育×福祉×ドローン×行政×α
香取市 EV車から蓄電池や充電・実証をやってみてはどうか！会場全体の運営・指揮！

香取市福祉避難所（20か所）の開所の流れを資料と共に説明。

香取市長 伊藤市長 全体統括挨拶

！全体統括 香取市障がい者支援班 高橋班長
 ！開催挨拶 香取市社会福祉部 総務部長

香取市担当者より説明：
 電動車の説明・充電実証は初の取り組み。
 （電動車から医療機器への給電活用マニュアル説明、国土交通省・経済産業省HPダウンロード可能。）
 非常時給電システム：車両走行機能を停止した状態、AC100ボルトで消費電力合計1500W以下の電化製品に使用できるシステム。1時間あたり消費電力400Wで使用した場合、5日間給電可能。災害時の避難所では、給電可能な1500W使用をすると想定。その場合1〜1.5日稼働。ガソリンを電気に変換のため、ガソリンが確保できれば給電可能。香取市では、ハイブリッド車を本行10台、各支所3台合計13台確保。家族はEV車を実際見た事が無かったので、どこにコンセントがあって、何を注意しなくてはならないのかが分かった。

香取市総務課と、香取市社会福祉部（高齢・子ども・障害・健康づくり・市民協働・包括センターの参加）

飲み物等熱中症対策で、参加者への配慮もいただきました！(〃)。

当事者・保護者×教育×福祉×ドローン×行政×α
**千葉県医療的ケア児等支援センターぽらりす 佐藤郁夫さん
 避難シミュレーションSV・取り組みのSV、千葉県内への情報発信、取材班対応。医療的ケア児とはの説明！**

香取市から提案頂き、行政職員に、医療的ケア児等とはの基本的学びを深めた！佐藤室長のお話をいただけないか

佐藤さん：是非その時間を取りましょう！で実現した。医療的ケア児等を知る時間も訓練の中に取り入れました。

本人・家族のフォロー。避難誘導・サポートもいただきました。専門職の視点から、取材の方々に医療的ケア児のケア、機器類の説明対応等

香取市・神崎町・東庄町では、医療的ケア児等支援協議の場のモデル事業（令和2年度）から継続して、千葉県医療的ケア児等支援センターぽらりすさんのサポート、スーパーバイズを頂いております。

当事者・保護者×教育×福祉×ドローン×行政×α

香取市・神崎町・東庄町の広域の様々な協力 いただいた皆様！

神崎町より、避難所非常食のモデル掲示

災害時は、**市町を跨いだ対応**が求められる。その第1歩になった。
電源（D-map）の協力体制を地域の中で広めたい！

東庄町、神崎町、香取市、佐原地域包括支援センターさんで受付業務

令和5年度作成 医療的ケア児等防災ハンドブック（香取市のHPにも掲載中）
令和3年度作成 香取広域避難ぶん作成ガイド 掲示

ワゴン車1台のスペースがあれば飛行可能。災害時の有効性を体感
次回は令和6年秋ころ東庄町での避難訓練に協力予定

大利根旭出福祉園施設長 香取広域自立支援協議会会長 山之内さん

国際ドローン協会の皆様 操縦士さん4名

福祉避難所の確保・運営ガイドライン 主な改定のポイント（令和3年5月）

■改定の経緯
「令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難のあり方について（最終とりまとめ）」令和2年12月24日

<課題・背景>
○障害のある人等については、福祉避難所ではない避難所で過ごすことに困難を伴うことがあるため、一般避難所への避難が難しい場合があり、平常から利用している施設へ直接に避難したいとの声がある
○指定避難所として公表されると、受入れを想定していない被災者の避難により、福祉避難所としての対応に支障を生ずる懸念があるため、指定避難所としての福祉避難所の確保が進んでいない（令和2年現在9,072箇所）等

改定の趣旨 指定福祉避難所の指定を促進するとともに、事前に受入対象者を調整して、人的物的体制の整備を図ること、災害時の直接の避難等を促進し、要配慮者の支援を強化する

主な改定内容（記載の追加）

- 指定福祉避難所の指定及びその受入対象者の公示（災害対策基本法施行規則の改正に伴う措置）
 - ・指定避難所について、指定福祉避難所を指定一般避難所と分けて指定し、公示する
 - ・指定福祉避難所の受入対象者を特定し、特定された要配慮者やその家族のみが避難する施設であることを指定の際に公示できる制度を創設
 - ※「高齢者」、「障害者」、「妊産婦・乳幼児」、「在校生、卒業生及び事前に市が特定した者」など受入対象者を特定した公示の例を記載
 - 受入れを想定していない被災者が避難してくる懸念に対応し、指定福祉避難所の指定促進を図る
- 指定福祉避難所への直接の避難の促進
 - ・地区防災計画や個別避難計画等の作成プロセス等を通じて、要配慮者の意向や地域の実情を踏まえつつ、事前に指定福祉避難所ごとに受入対象者を調整等を行う
 - 要配慮者が日頃から利用している施設へ直接の避難を促進する
- 避難所の感染症・熱中症、衛生環境対策
 - ・感染症や熱中症対策について、保健・医療関係者の助言を得つつ、避
 - ・マスク、消毒液、体温計、（段ボール）ベッド、パーティション等の備蓄を図る
 - ・一般避難所においても要配慮者スペースの確保等必要な支援を行う
- 緊急防災・減災事業債等を活用した指定福祉避難所の機能強化
※社会福祉法人等の福祉施設等における自治体の補助金に対する緊急防災・減災事業債活用も可能に

医療的ケア児本人・家族の声がある事、訓練を通じ把握できたと思います。内閣府においても、指定福祉避難所にダイレクト避難が可能。そのための1つが、医療的ケア等避難訓練になる。

当事者・保護者×教育×福祉×ドローン×行政×α

香取市・神崎町・東庄町医療的ケア児等支援 避難シミュレーション（香取市複数避難訓練）を通じて

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥継続した避難プラン作成（更新含む）と避難訓練の必要性。
- ⑦結果、医療的ケア児等のダイレクト避難が必要である事。できるようになることを含めこの事実を制度に反映していただきたい。
- ⑧香取市と香取特別支援学校との協定が締結された際には、是非更に具体的（医療的ケア児や他の障害のある方等含めた）避難訓練を継続した実施ができると良い。
- ⑨物資運搬や経路確認においては、人員を配置する方法より、より確実により正確に把握できるドローン活用がその1つとして実証がされた。この点も、災害時対策を考える制度施策へ反映していただきたい。

「災害時に避難を諦めない地域に」

このテーマを掲げ、**現在、プラン作成中（済も含む）15名**
プラン作成希望者 全体21名の作成と継続した災害時対策
を続けていきます。是非御協力ください。

令和6年10月ころ予定
東庄町医療的ケアのある者避難シミュレーション